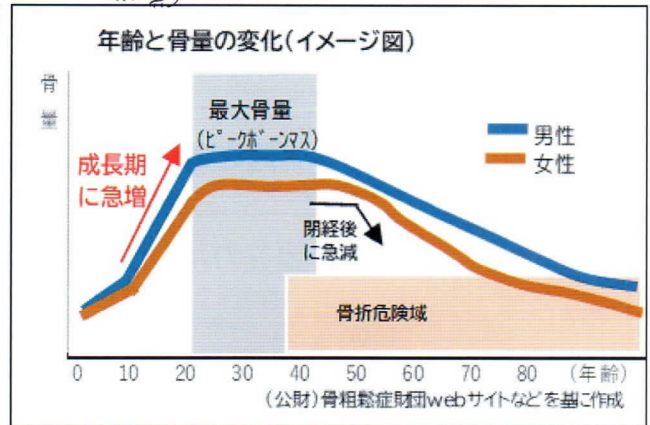


保護者の方へ



全国的にも、京都市でも、カルシウムは不足傾向。

- ・京都市の食生活実態調査(令和元年度)で、生徒の約6割がカルシウム不足の傾向にあるということがわかりました。
- ・骨内のカルシウム量(骨量)は、10歳代の成長期に急増し、20歳代に最大骨量(ピークボーンマス)を迎えます。(右図)
- ・最大骨量がどれだけあるかで、一生の骨の質が決まるため、10歳代でのカルシウム貯金が大切です。
- ・また、高齢者(65歳以上)の5人に1人が、骨折・転倒・関節状態の悪化など骨に関わることで要介護となっている(令和2年度版高齢社会白書)現状です。
- ・ご家庭で積極的なカルシウム摂取に取り組んでください。



組み合わせて食べて、吸収率 up !

カルシウムといえば牛乳・乳製品や小魚などのイメージが強いと思いますが、大豆・大豆製品、小松菜などの葉物野菜や切干大根、海藻類などにも多く含まれています。好き嫌いをなくすことや、牛乳や小魚などだけでなく様々な食材からカルシウムをとる習慣を身に付けたいですね。



カルシウムを多く含む食品

中学生の1日に必要なカルシウム量を意識して組み合わせましょう！
(男子 1000mg, 女子 800mg)

牛乳 1本(200ml) 226mg	小松菜(70g) 120mg	厚揚げ(50g) 130mg
切干大根(6g) 30mg	ひじき(4g) 40mg	ししゃも 2尾 129mg

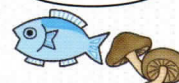
フラスワンポイント!

カルシウムのはたらきを助ける

たんぱく質



ビタミンD



ビタミンK



CHECK!

「リン」摂りすぎていませんか？



インスタント食品や加工食品には、添加物としてリンが含まれています。リンのとりすぎはカルシウムの吸収を妨げる原因になると言われています。普段の食事や間食の内容を振り返ってみましょう。

給食ではカルシウムがとれるように、毎日の牛乳だけでなく、様々な食品を組み合わせで献立を工夫しています。1月14日(木)には、切干大根を使った新メニューも登場します。ぜひご家庭でも給食を参考にしてください。



つくってみよう！ カルシウム up の組合せ「給食レシピ」

小松菜と油揚げのガーリックいため

<材料(4人分)>

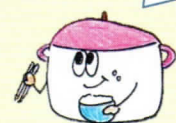
小松菜	1束(250g)
油揚げ	1/2枚(50g)
にんにく	1/2片
油	小さじ1
うすくちしょうゆ	小さじ1
食塩	ひとつまみ
こしょう	少々

<作り方>

- ① 小松菜は3cm程の長さに切り、さっとゆでしておく。油揚げは油抜きをして短冊切りに、にんにくはみじん切りにする。
- ② フライパンに油とにんにくを入れて火にかけ、香りがでたら、小松菜を炒める。
- ③ ②に油揚げを加えてさらに炒め、塩・こしょう・しょうゆで味付けをして仕上げる。

カルシウムは加熱しても栄養価がほとんど変わらないのが特徴です。

小松菜は茎⇒葉の順番に生のまま加えて炒めてもOK! より食感が楽しめますよ。



食生活実態調査の結果などはこちら



「京の食育通信」
バックナンバーは
こちら



次回は
冬の食生活
の話!